

漁海況情報

令和6年3月26日 第23号(通巻766号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

2023年度 第2回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報

令和6年3月21日に開催された「第120回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁況海況予報会議」の結果(2024年4月~9月における海況・漁況の見通し)をお知らせします。

*参画機関: 水産庁、国立研究開発法人 水産研究・教育機構、(一社)漁業情報サービスセンター、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

*引用元: 水産資源研究所ホームページ (<https://www.fra.go.jp/shigen/>)

【海況の今後の見通し(2024年4月~9月)】

1 海流

薩南海域における黒潮北縁域は、短期的な南北移動を繰り返すが、「屋久島南付近での変動(平均的な位置)」もしくは「接岸傾向」で経過する。

2 表層水温

山口県沿岸・沖合、大陸棚上、黒潮流域は「やや高め~かなり高め」、対馬東水道、壱岐水道、五島西沖、五島灘、天草西沖、西薩・甕沖、薩南沿岸、薩南沖合、沖縄島周辺海域は「平年並み~やや高め」で経過する。

(注) 引用符「」で囲んで表した平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

「平年並み」: 約2年に1回程度の発生頻度 「やや」: 約3年に1回程度の発生頻度

「かなり」: 約7年に1回程度の発生頻度

【漁況の今後の見通し(2024年4月~9月)】

◎対象海域: 東シナ海

◎対象漁業: まき網、定置網、その他

◎対象魚群: 0歳魚(2024年級群(2024年生まれ))、1歳魚(2023年級群)、2歳魚(2022年級群)。魚の大きさは尾叉長で表示。

1 マアジ

(1) 来遊量

・沖合域、沿岸域とも前年・平年を下回る。

(2) 漁期・漁場

・期間を通して、東シナ海中・南部、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 15～25cmの1歳魚（ゼンゴ・小・中銘柄）が主に、5～15cmの0歳魚（豆・ゼンゴ銘柄）と25cm以上の2歳魚以上（中・大銘柄）も漁獲される。

2 マサバ

(1) 来遊量

- ・ 沖合域、沿岸域とも前年・平年並み。

(2) 漁期・漁場

- ・ 期間を通して、東シナ海中・南部、五島西、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 漁期前半は26～32cmの1歳魚（豆・小銘柄）と33～35cmの2歳魚（小銘柄）が、漁期後半は1・2歳魚に加えて、25cm以下の0歳魚（豆銘柄）が主に漁獲される。

3 ゴマサバ

(1) 来遊量

- ・ 沖合域は前年を下回り、平年並み、沿岸域は前年並みで、平年を下回る。

(2) 漁期・漁場

- ・ 期間を通して、東シナ海中・南部、五島灘・薩南、鹿児島県の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 沖合域では15～28cmの0歳魚（豆銘柄）および28～32cmの1歳魚（小銘柄）が主に漁獲される。沿岸域では25～37cmの1歳魚以上（豆～中銘柄）が漁獲される。

4 マイワシ

(1) 来遊量

- ・ 前年並みで、平年を上回る。

(2) 漁期・漁場

- ・ 期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 漁期前半は主に15～22cmの1～3歳魚（中・大羽銘柄）が、後半は15cm以下の0歳魚（小・中羽銘柄）が主体に漁獲される。

5 ウルメイワシ

(1) 来遊量

- ・ 前年並みで、平年を上回る。

(2) 漁期・漁場

- ・ 漁期の後半が漁獲の主体となる。長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 漁期前半は15cm以上の1・2歳魚（中羽・大羽銘柄）が、漁期後半は5～15cm

の0歳魚（小羽・中羽銘柄）が主に漁獲される。

6 カタクチイワシ

(1) 来遊量

- ・前年を上回り、平年を下回る。

(2) 漁期・漁場

- ・4月～6月が主体となる。長崎県南部以南の沿岸域が主な漁場となる。

(3) 魚体

- ・漁期前半は5cm以上の0・1歳魚（小羽・中羽・大羽銘柄）が主体で、漁期後半は4～8cmの0歳魚（カエリ・小羽銘柄）が主に漁獲される。

（注）「前年」は2023年4月～9月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。「沖合域」とは大中小型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。